

平成27年
12月15日号

みのり

【発行】
早通小学校区
コミュニティ
協議会広報部

～「集まれ!!」賽ノ神～

新年の恒例行事「賽ノ神」を1月11日(成人の日)の正午から、早通小学校裏の空き地で実施します。賽ノ神の火は、魔除けです。新しい年を無病息災で過ごせるように、みんなで祈りましょう。

当日は、するめと甘酒がふるまわれます。

11月1日には長湯でヨシ刈りを実施、十分確保しました。するめを竹の棒に取り付けるのは、早小の子どもたちです。実施場所の借用と青竹の提供では、例年通り地域の方の協力を得ることができました。準備万端整いました。多数の参加をお願いします。



日時；平成28年1月11日(月) 正午から2時まで
場所；早通小学校裏空き地

～子どもは地域の宝～（今井真悟・早通小学校長）



「亀田縞」や「ドジョウ」は、かつて地域の特産品でした。それを復活させようと、頑張っている人たちがいます。

本校児童は、生活科や総合学習の時間に、その話を聞きました。また3年生は毎年、綿摘みや糸繰り体験をさせてもらっています。故郷のことを真剣に考え、少しでも良くしようと取り組んでいる人たちの姿は、子どもたちにとって、とても良いモデルです。

地域学習から児童に学んでほしいのは「早通にはこんなにいいところがある」とか「こんなにすごい人がいる」ということです。子どもたちが自分の故郷に誇りを持ち、次の時代に引き継いでほしいのです。「子どもは地域全体の宝」です。そうした子どもを育てるために学校と地域が連携していきたいと思えます。ご理解とご協力をお願いします。

～気さくにデビュー小野克幸新区長（56）～

この4月、市の財務部次長から江南区長に就任しました。8月5日早小コミ協との懇談会が開かれ、抱負をお聞きしました。「交通網に恵まれ、人口増が見込まれる江南区は、発展の余地が多い。子どもたちが笑顔で育つ地域にしたい」とのことでした。

ところで、亀田縞のネクタイをした新区長は、「三九の市」にも買い物に行くそうです。そして得意なことは「お料理」。中でもカレーは、ルーから手掛ける本格派とか。一度食べてみたいですね。ちなみに、区のホームページで夏の挨拶をしたときの区長は、亀田縞のゆかた姿でした。



～区の成長力と暮らしやすさ強調―篠田市長～

11月3日、区役所で市長の「地域ミーティング」が行われました。地域を元気にするために市長はどのような施策を考えているのか。その基本方針を伝え、地域の意見も聞く。そんな趣旨で開かれ、自治会長やコミ協代表ら約50人が出席しました。

市長からは

- ① 仕事は作る② 人を増やす③ その結果として地域を活性化する—という「好循環の街づくり」の提案がありました。

西蒲区で活発化している「婚活事業」なども披露されました。出席者からは「稼げる農業にもっと支援を」といった意見が出されました。



～「大地」の試み ― そして今～（上早通・杉本克己さん）

茅野山のアスパーク隣に、農産物直売所「大地」があります。地域のみなさんからのご利用に感謝しております。「大地」ができたのは、平成19年7月です。計画したのはその6年前。実際に建設に着手したのは2年前でした。

当時も今もそうですが、農業は、進むべき道を農政にゆだねてきました。私の知っている限り、すばらしい、ありがたい農政など一度もなかったように思います。農業者は、やるべきことを、自らやるべきだと思います。

当時農業団体の研修で視察を繰り返していると、うまくいっているところは、農産物直売所だと思いました。そこで農業団体をお願いして農産物直売所を作ってもらおうとしたのですが、取り上げていただけませんでした。そこで、何人かの仲間を作り、相談した結果、自分たちで作ろうということになりました。そしてできたのが「大地」です。計画づくりから何から何まで、すべて私たち農業者がやったわけで「農業を知り尽くしているひとたち」が、農業のための施設作りや運営に取り組んだわけです。

おかげさまで順調に推移しています。自信をもって作ったものを、自信をもって売る。ただそれだけのことです。店内でもお客様とよく話をします。みなさんから大変喜んでいただいています。生産者も「大地」が自分たちの店だという自負で、いつも笑顔です。まだまだ道半ばではありますが、やってよかったと思われるように、努力して行こうと思います。



農業は昔から、早小校区内の主産業です。しかし、後継者不足や農産物価格の相対的な低落などで、いま難しい局面を迎えています。

そんな中で、「大地」の試みは、消費者にも喜ばれ、輝いて見えます。設立に携わった杉本さん(早小コミ協理事)に、設立当時と今の思いを寄せていただきました。

(広報部)



～江南区福祉センターキラトピア体験～

江南区福祉センターに、行ってきました。

4月にオープンしたばかりで、とてもきれいな施設です。1階がフリーペースになっていて2階は貸し館になっています。1階のフードコート（憩いの広場）は誰でも使用OK！おしゃべりOK！地域のお茶の間としても利用されていました。子どもたちの居場所（FES）では、マンガやテレビを見たり、勉強している小中学生がたくさんいて、早小の子どもたちも多く利用しています。

気軽に立ち寄れる場所で居心地の良い所でした。

日中は利用する人が少ないようでお勧めです。

新潟市江南区泉町3-3-3（電話）025-250-7743

「遊び、に行こう！ボランティアサロン」

ボランティア活動にためらいのある方も、がつり経験者も、通りすがりの方も、のんびりお話ししてみませんか？毎回「ちょっと“タメになるミニ講座やレクレーションを行います！」

日時：毎月第3金曜日14時から16時

会場：江南区福祉センターボランティアルーム

内容：ミニ講座（20分）とフリートーク

お茶あり

参加：参加費無料、申し込み不要

早通小学校区コミュニティ協議会**事務局**が早通小に設置されました

～これまでの活動報告～

<おはよう朝ごはんに参加して>

コミ協主催早通小学校、亀田地区公民館、食生活改善委員のご協力で10月3日(土)に開催しました。朝ごはんの大切さを理解し、次の世代を担う子どもたちを育み、地域全体が元気になれるように願いを込めた事業です。私も子どもたちと一緒に調理しました。

いま流行の「おにぎらず！」にも挑戦しました。ラップにのりを敷き、具をご飯ではさみ込み、それを包丁で適当な大きさに切って完成です。にぎらない「おにぎり」とは、よく考えたものだ后感心しました。

私でも家で簡単に作れそうです。来年度も親子で多数参加してください。

(早小校区コミ協会長・佐藤洵吉さん)



<夏休みお楽しみ会>

「夏休みのお楽しみ会」が、8月18日に行われました。

午前中は上早にある宗通寺(そうつうじ)で座禅や写経のお寺体験。みんな真剣な顔で写経をし、住職さんにたくさん質問をしていました。

午後からは早小に場所を移動し、創作活動として万華鏡作りをしました。個性あふれる作品が出来上がり、楽しい夏休みの思い出となりました。



<歩け歩け交流会>

第13回歩け歩け交流会が9月20日(日)に開催されました。92人の参加者が集まり、7Kmのコースを約3時間かけて歩き、梨もぎをし、今年完成した武道場、江南区福祉センターを見学しました。学校に戻りトン汁を食べ、ピンゴゲームで盛り上がりました。たくさん歩いた後に食べたトン汁とおにぎりはとても美味しく、秋の味覚を満喫しました。



「空き巣ねらい」増加！ご用心

(江南署・生活安全課)

江南署管内で空き巣の被害が急増しています。10月末現在で24件です。これは去年同期より14件増で、倍以上となっています。外出の際には、玄関や窓のカギかけを忘れずに。

それと相変わらず多いのが「自転車盗難」と「万引き」。これらはいずれも2日に1件の割合で発生しています。軽い気持ちだったにしても、もちろん犯罪です。盗る方はもちろん、被害に合う方も注意しましょう。

